



Discover a New World of Service

見つけよう 奉仕の新生面



会長 川村徳男 幹事 迎田 稔 クラブ奉仕 山口篤之助 職業奉仕 佐藤 忠 社会奉仕 吉野 勲 国際奉仕 新穂光一郎 青少年奉仕 藤川亨廣

出席報告：会員 73 名 出席 54 名 出席率 73.97% 前回出席率 83.56% 修正出席 66 名 確定出席率 90.41%

四つのテスト

- ㊦ 真実かどうか？
- ㊧ 好意と友情を深めるか？
- ㊨ みんなに公平か？
- ㊩ みんなのためになるかどうか？

職業奉仕 四つの反省

1. 顧客に対して：
 - 最高の品質、最高のサービスを提供しているか
 - 常に正直と親切を旨としているか
2. 従業員に対して：
 - 彼等の長所を充分に認めかつ買っているか
 - 安全で快適な職場を確保しているか
 - 苦情に対して公正な態度で対処しているか
 - 自ら誠実、正直、善意の手本を示しているか
3. 競争者に対して：
 - 公正な態度で接しているか
 - あなたは、行動をもって誠実を感じさせているか
 - 彼等とともに事業水準の高揚につとめているか
4. 協力者に対して
 - 公平でしかも友情にみちた関係を保っているか
 - いつも支払をよくしているか

会長報告

川村徳男君

1. 新穂恵さんが留学先でバナーを交換してくれましたので回覧します。
2. 黒川能鑑賞と家族会の参加申込みの締切りが今日になっております。今のところ申込者が大変少ないようですが、黒川能を本場で鑑る機会は滅多にありませんし、また、親睦活動は本年度の最重要項目になっておりますので、奥様ほかご家族共大勢の方々の友情参加をお願い申し上げます。

3. 次の例会までの行事

(1) ロータリー関係行事

31日(金)午後6時から、この例会場において青少年電話相談のカウンセラーをお願いしている方々とロータリー側との初会合を行なうことになっております。電話相談は地域において大

きな期待を寄せられておりますし、また、R.C.としては、地区でも全国的にも初めての画期的な活動として注目を浴びることになると思います。詳細は8月14日の例会で藤川青少年奉仕委員長が申し上げ、お願い致しましたが、私からも皆様のご協力を重ねてお願い申し上げます。その時のお話で顔合せを8月30日と申しましたが、31日に変更になりましたのでよろしく。

また、9月は青少年活動月間に当たります。

(2) 一般の行事

9月1日は二百十日、防災の日です。大正12年9月1日の関東大震災の時、私は小学校に入る前の年でしたが、その揺れ方のひどかったことが今でも記憶に残っています。あの頃は新聞の号外が一番早い情報だったので、その暫らくあとで、こんにちのニュース映画でし

庄内空港の建設を推進しましょう

ょうが、公園地の今のテニスコートあたりの広場で写されて、隅田川に黒々と浮ぶ屍体をみて子ども心に恐ろしかったものです。

私はいつも家族や職場で、泥棒はひとしよいだが、火事は根こそぎだから、火の元には充分注意するように言っております。

4. D 417 と D 253 の組合せクラブ一覧表がござい
ますが、8月10日の日付けで斎藤がバナーから会
長並びに幹事各位という事で文書が入っておりま
して、417 地区のホセ氏と会見せし時、メキシコ
の417 地区と丁度同じクラブ数であるところから
話がまとまったと思います。今後国際親睦委員会、

会員スピーチ

放送とニューメディア

今 村 哲 君



最近いろいろなニューメ
ディアが話題がマスコミを
賑わせていますが、今日は
放送との関わりをお話して
みたいと思います。7月8
日にNHK特集で「中継、
日本列島・夜の海」という
番組を放送いたしました。

沖縄の西表島と高知県の古満月、それに北海道知床
半島の三か所を、ナマ中継で結びました。海中から
お互いに話をしたのは世界で初めての事です。沖縄
に台風の来ない時、オホーツクに良い天気が続く時
など慎重に検討を重ねて、7月8日を選び、幸いにも
成功をおさめました。この放送も通信衛星など
従来のメディアを活用したものでした。

では、いま放送として考えているニューメディア
とは申しますと、五つほどございます。

まず、テレビ音声多重放送があります。まだ山形
県ではNHKで実施していませんが、ステレオ放送
二ヶ国語放送、解説放送などを行なうもので、59年
度末で全国の85%のカバレッジを計画しています。

次に衛星放送です。一寸したトラブルで現在は一
波しか放送していませんが、来年夏を目途に、予備

理事会とも相談の上進めて行きたいと思います。

幹事報告

迎 田 稔 君

本日は書類の伝達が主な事です。

- 第75回国際年次大会がバーミンガムで行われまし
た記念誌を只今回覧中でございます。
- 国際R.C.アジア地区大会が(11月14日~11月17
日)フィリピンのマニラで行われますが、参加
の案内が事務局に御座居ます。
- 神戸南R.C.の認証状伝達式の案内がきております。
- 酒田東R.C.より会報及び活動計画書が参っており
ます。

の衛星を打ち上げて二波にするべく努力中です。赤
道上空約3万6千キロに静止し、全国42万世帯の難
視解消、衛星放送の普及、高品位テレビやPCM音
声放送等の開発実験を目ざしています。

3番目は文字放送でございます。聴力障害者を対
象に58年10月から、東京と大阪地域で総合テレビ系
統で実施しています。これはテレビの画面のすき間
を利用しているもので、ニュースや天気予報、お知
らせ等8項目を放送しており、パターン(形状)方
式とハイブリッド(符号)方式が考えられています。
現在はパターン方式による放送でございます。

4番目は緊急警報放送で、人命や社会生活に重大
な影響を及ぼす地震や津波など、非常災害の予知情
報や警報をお伝えするものです。放送電波に一定の
信号を入れて、スイッチを切っても、自動的に
受信機が作動して警報を伝えるシステムです。

最後に高品位テレビジョン放送です。夢のテレビ
とも言われるもので、すでにNHKではカメラやV
TRを開発して番組制作ができるようになっていま
す。このテレビは今のものより画面の密度が約5倍
と鮮明で、臨場感のあるものになります。走査線も
1,125本と今の525本の2倍以上あり、たたみ一畳
大の壁掛けスクリーンを使う未来のテレビジョンで

す。

以上がいまNHKとして考えている放送のニューメディアですが、急速な技術革新に対応して、必要な情報を確実にお届けするため努力していく所存でございます。

スマイル

丹下誠四郎 君 日曜日に愛犬の荘内地区コンテストでグランプリを獲得しました。

張 紹 洵 君 会報のインタビューがうまくいったので。

ビジター

酒田東R.C. 和島市太郎 君

鶴岡西R.C. 菅原 幸雄 君 ・ 菅原 年雄 君
帯谷 義雄 君 ・ 八幡 慶二 君
井上 彬 君



1984.8.29 (水)

A.M. 10:00 ~ 10:30

於・佐藤昇設計事務所応接間にて

阿蘇：おはようございます。早くからお伺いしまして。

佐藤さん：いやいや、どうも話

をすることが何もなくね。質問して下さいよ。

阿蘇：ロータリー歴は長いですね。だいぶお若いときの御入会ですね。きっかけは何でしたか？

佐藤さん：荘司繁太郎さんという方がロータリーにいらしてね、その方から強引にね、30才の時でしたか。

阿蘇：その頃は一番若かったのですね。当時から長く続いているという御趣味は何ですか？

佐藤さん：ロータリーのメンバーの中には大ベテランが多いのですが、釣ですね。

阿蘇：だいぶ長いのですか？

佐藤さん：ええ、20年位かな。ああ、そうそう、ここにね、信用金庫の風間富治郎さんの書がありますかね、釣のことをいっているんですね。釣魚の極意

というのですが、釣魚多者之上手、少而多楽之名人、不釣猶樂之達人、斯道年久之無窮、というのです。

阿蘇：分かりやすいことばですね。だいぶ佐藤さんも釣はお好きなようですが、シーズン中何回位行きますか？

佐藤さん：そうですね、仕事を持っていますからね。仕事以外は釣ですね。年間40~45回ぐらいかな。それでね、会社でも浦島会という会も作っていますしね、山形相互銀行の会やいろいろの会に入って頑張っていますよ。

阿蘇：釣をされて良かったなあといったことはありますか？

佐藤さん：それはね、何ととっても身体が丈夫になったということですね。

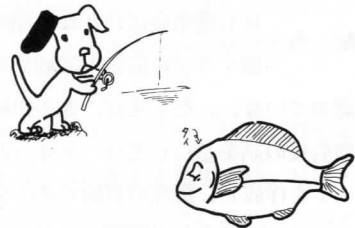
阿蘇：他にお好きなものは？

佐藤さん：私も犬年生れのせいですかね、犬は大好きですね。今は忙がしいので飼ってはいませんがね、一時期はね、4匹もいましたよ。

阿蘇：同時に4匹もですか。御家族が4人さんですから一人一匹となりますかね。どんな種類の犬ですか？

佐藤さん：あんなに可愛いものはないですね。最高ですよ。土佐犬とシェパード、テリヤ、そして雑種が一匹いましたね。

阿蘇：犬年のお生れであり、又、最高の大きい魚を釣ったのは一尺五寸の黒鯛とのことですので、そこからあたりをイラストにしてみます。いろいろ勝手なことをお聞きしまして申し訳ありませんでした。新米記者ですのでよろしく。



(今週の担当者 忠 鉢 徹)

ロータリー用語便覧(5)



研究グループ交換 財団の目標である国際理解を最も効果的に達成する独得な方法に、この研究グループ交換がある。このプログラムは

高度の資格をもつ実業人と専門職業人からなるチームに旅費を支給する。各チームは、ロータリアンでない25～35歳の5名で編成され、他国の地区と組合わされたロータリー地区ごと選ばれる。チームを派遣する地区は、2年間の期間内に、その組合わされている地区からのチームを受入れ、ホストの役目を果さなければならない。

チームは、地元のロータリアンたちから親切にもてなされるが、ロータリアンでない非常に多数の人々——あらゆる年齢層の、そして経済的、社会的、文化的な背景のある人々——も、同様にこのプログラムに参加する。また、各訪問チームのために受入れ国で数週間実施される特別な研究プログラムもある。したがって、その結果、チームにも受入れ側にも非常に貴重で、教育は、専門的な知識と意見の交換ができる。

チームの各メンバーは、自国についての明確な知識・意見をもち、受入れ地区の言葉に堪能であることが要求される。そして帰国後は、新しく得た知識、観念および視野をひろげた見解を多くの聴衆に分かち与えなければならない。こうして始めて、メンバーは、ロータリー財団プログラムへの参加の全過程を完了することになる。

広告配布 R.I.理事会はいかなる団体にも加盟クラブに広告の印刷物を配布する権利を認めていない。たとえば、ある印刷会社があるR.I.前会長の話を基にしてロータリーの教育的パンフレットを作成し、販売の目的でその広告をロータリー・クラブに配布して問題になったことがあった。そこで理事会は、このような場合の留意事項として、①予め適当な機関と連絡をとること、②印

刷会社は外国のロータリアンに対し宛名の書き方に注意すること、③営利を目的とする商社はその手紙にYours Rotarily と書かないこと、④国際ロータリーやロータリー・クラブ以外で発行される印刷物にロータリーの徽章をつけないこと、⑤ロータリーの公式名簿、地域・地区あるいはクラブの名簿等は、商用の郵送名簿として使用したり、させたりしてはならないとして警告している。

なお、配布は必ずしも広告だけにかぎらないが、実際には前記のような広告の場合が多い。しかし、たとえば決議29-12、第2および第3節の規定のように、ロータリー・クラブが他のロータリー・クラブに回状を回す場合でも、事情によっては、正規の手続きを踏んだか否かで問題になることもある。

広報委員会 クラブはそのプログラムや活動について、その地元一般に十分に周知されていなければならない。広報委員会は、報道機関による宣伝価値を認識し、クラブ所在地の新聞社・放送会社から会員が出ているかどうかを検討し、①広く世間一般に、ロータリーについて、その歴史・綱領・規模に関する情報を提供し、②特にクラブのために適切な宣伝を行なう方法を考えて、実施するなどの任務がある。

好ましくない宣伝 ロータリーの目標や活動を一般に知らせるための宣伝は、もちろんロータリー・クラブやその活動が誤解を受けるようなものであってはならない。また依頼した講演者が宗教や政治、とりわけ政党の政策や候補者の支持を訴えるといったことは、クラブの方針に反するので、事業に打合せ、この点を十分に理解してもらうことになっている。したがって、この原則を破られるような場合には、出席者（報道関係者を含む）全員に対し、この講演者にはクラブを代表して講演する権限がないことを説明しなければならない。

クラブ役員 会長、副会長、幹事、会計およびS・A・Aをいう。したがってクラブの理事とは、おのずから区分される。